



マナウス日本人学校 学校だより

マナウス

2023年(令和5年)4月26日 第2号 文責:校長 八幡 良一

学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども (知)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども(徳)
- ・心と体を鍛える子ども (体)

新派遣教員紹介

3月に3名の先生が帰任し、4月に新たに3名の先生が着任しました。着任式で代表児童から歓迎の言葉をもらい、改めてブラジル・マナウスに来た喜びを噛みしめています。

はじめまして。今年度、福岡県から参りました谷角佳世子(たにかどかよこ)です。今年度は、2年生の担任と、中学校の国語及び全学年の書写を担当いたします。マナウスに着いてから、まだ3週間足らずで、ポルトガル語が全く分からない私ですが、地元の方々や現地職員の方々の優しさや笑顔に触れることができ、楽しく生活できています。日本では、ずっと小学校に在籍していましたので、日本人学校での中学校国語科の授業は、緊張の日々ですが、少人数だからこそその深い意見の交流や、漢字をはじめとする細かいところまでの指導ができるので、久しぶりに国語の楽しさや奥深さを再認識しています。そして何より嬉しいのは、子どもたちが、素直で可愛く、優しいことです。分からないことや慣れないことが多い私を、いつも助けてくれます。今後は、「この素敵な子どもたちをより良く伸ばしたい！」との思いをしっかりと持って、精いっぱい努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



来島(きじま)さゆりといいます。家族4人、島根県の益田市から来ました。海外で働くことは子どものころからの夢でしたので、こうしてマナウス日本人学校に赴任できたことがとてもうれしいです。マナウスに来て、いいなと思ったことは「フルーツがおいしい」ことです。海外に住むときに大事にしたいことはやはり食事！その「食」に関して、いいなと思えたことはこれからのマナウスでの生活が明るく思えた出来事でした。これからもマナウスのいいところをたくさんみつめていきたいです。また、日本の文化も伝えていけたらいいなと思っています。海外に行っても思うことは「日本っていい国だな」です。外に出て、改めて日本のこと、自分自身のことがわかる気がします。日本の良さ、日本の伝統文化を伝えていけたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

はいさい！はじめまして。沖縄県から参りました我那覇ゆり子(がなはゆりこ)と申します。名前の通り那覇市、首里城のある首里の出身です。ブラジルと沖縄には、長い歴史的な繋がりがあります。沖縄から110年以上前にブラジルに移り住んだ人が、累計約15万人いらっしゃいます。そんな歴史的繋がりのあるブラジルに来ることができ、とても嬉しく思っています。また、マナウス日本人学校のカラフルな花々、青々とした緑に大きな葉をつける木々は、沖縄の学校とよく似ています。先人の尽力を見習い、うちなーんちゅとして、ここブラジル・マナウスで尽力いたします。また、マナウス日本人学校の子供達一人一人と丁寧に関わることができることをとても嬉しく思っています。異学年、全日、日本文化の皆さんと、日本語で、ポルトガル語で、様々な関わりを楽しみながら、子供達のために頑張っていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。



4月23日の参観・PTA総会には、たくさんの方が来ていただきありがとうございました。